

波多野 健治

(新潟鳥獣警備 代表)

獣害対策との関わり

平成21年から平成25年まで
地元、阿賀野市臨時職員
「猿パトロール隊」として活動。

地元にも関わらず、初めて野生の猿を目撃。

耕作者と非耕作者での獣害に対する温度差を
肌で感じ、実感する。

阿賀野市「猿パトロール隊」の活動

初めて野生動物に目を向けるきっかけとなり、
地元猟友会に

「自然を相手にするという現実」

先輩パトロール員に

「野生を追うという根本」

これらを学び徹底的に現場で叩き上げられ、
最終的には当時200頭ほどいた群れを80頭
ほどまで捕獲圧をかけ、群れの縮小、被害軽減に
成功した。

新潟ワイルドライフリサーチ (現、株式会社ういるこ)との出会い

阿賀野市臨時職員任期終了後、現在の
「株式会社ういるこ」社長、山本麻希氏の元で
「学術的な対策」、「野生動物管理」等を学び、
自身も猿の捕獲技術を生かし、全国を回り
捕獲指導に力を注ぎ、耕作者、行政、有識者が
一丸となる必要性を呼びかけてきた。

阿賀町地域おこし協力隊

のちに、阿賀町から獣害対策員として活動してほしい。とのお声掛けをいただき、現在の阿賀町での活動を開始する。

阿賀町での活動

無麻酔による 電波発信機・GPS発信機の装着



猿追い払い実施研修会



獣害対策の基礎を学ぶ講演会



自分たちの集落を見つめ直し、獣害に強い環境を作る「集落環境診断」



新潟県指導者養成研修会



そして現在は29群の加害群すべてにGPS発信機を取り付け、住民自ら行う追い払いなどの基盤が出来ている



これらの活動を行い地域おこし協力隊の 3年間を終える

本格的な猿対策をスタートし、これからも向上
していく阿賀町の力になりたく、平成30年
新潟鳥獣警備を起ち上げ、獣害対策の町医者
的存在をめざし、小さなことから親身になれる
町に根付いた活動をこれからも続けていきたい。